



http://hiratsuka-rotary.jp



2014~2015年度
国際ロータリーテーマ
LIGHT UP ROTARY
「ロータリーに輝きを」

HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 鳥海衡一 ●副会長 清水孝一 ●幹事 白石慎太郎 ●会報委員長 日坂泰之 (2014~2015年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15~13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2976回例会 2014年12月18日 グランドホテル神奈中 週報第2976号

本日の卓話者ご紹介

NPO 法人 かものはしプロジェクト
代表 村田 早耶香 様



卓話

かものはしプロジェクトについて

NPO 法人 かものはしプロジェクト
代表 村田 早耶香

かものはしプロジェクトとは、「子どもが売られない世界をつくる」活動している団体です。

私がこの問題と出会ったのは19歳の頃でした。大学の授業で貧しさのためにたった1万円で売春宿に売られ、亡くなったという15歳の女の子の話聞き、この事実を自分の目で確かめるため、私は東南アジアに行き、実際に児童買春の被害者を保護している施設を訪問しました。その施設には5歳や6歳といった小さい子どももおり、私はその子たちも被害者であるということを知りました。私が一番仲良くなった子は6歳の子でした。その子は売春宿の地下の部屋に閉じ込められ、言うことを聞かないと電気ショックを与えられ、従うまで殴り続けられたそうです。こんな小さな子ども達が生まれた場所が違うというだけで苦しめられているという事実を知り、私はなんとかしてこの状況を変えられないかと思いました。

私は児童買春問題について調べ、やはり問題解決のためには誰かが継続的にやり続けていかなければいけない、そう考えていました。そんなとき現在一緒に共同代表をしている元木と青木と出会い、人生の転機となりました。彼らから社会的起業という、事業を通じて社会問題を解決するという方法を知り、私は彼らと共に2002年に『かものはしプロジェクト』を設立しました。今年で11年目になります。

1990年代から子どもの被害者が急激に増えていたカンボジアで活動を始めました。

「子どもを買わせない」ために、カンボジアでは警察が加害者を逮捕するよう現地警察官の訓練支援を行い、「子どもを売らせない」ために現地で工房を運営して貧しい家庭の大人に就業の場を提供することで、子どもを売り渡すことを未然に防いでいます。

また2012年度からは未だ被害者が多いインドでも活動を始めました。

私たちは世界からこの問題が解決するまで活動を続けていきます。世界の子どもを守る活動を応援していただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

卓話者プロフィール

村田 早耶香 様

本日の卓話は、NPO法人かものはしプロジェクトの村田早耶香(さやか)氏が卓話をされます。村田氏は、大学生の時に売られる子どもの問題を知り、20歳の時に仲間と団体を立ち上げ、12年間活動されています。

その取り組みが成功したので、日経ウーマンのウーマン・オブ・ザ・イヤーを史上最年少で受賞されたり、青年会議所の人間力大賞に輝いたり、「カンプリア宮殿」や日本経済新聞等のメディアにも取り上げられています。また、2011年には東宮にて皇太子殿下とも謁見(えっけん)されています。

<出席報告>

本日12月18日	会員数 60名	対象者 56名	出席者 43(40)名	出席率 72.88%			
前々回12月4日	会員数 60名	対象者 56名	出席者 46(44)名	出席率 79.31%	MUP 2名	計 48名	修正率 82.76%

「知ってしまった人が取り組まねばならない。」その思いで行動を起こした彼女の話は、とても感動的で、多くのロータリーアンの共感と呼んでいます。皆様も、もし講演を聞き強く共感を抱いていただけたら、活動を応援することを、検討していただければと思います。

<幹事報告>

◎ I A 第8回合同会議／第2回ボウリング大会開催のお知らせ

日 時：2015年1月10日(土)
 14:00 - 14:30 合同会議
 14:30 - 17:30 ボウリング大会

場 所：江ノ島ボウル

会 費：3,000円

申込み：12/24(水)までにご連絡をお願いします。

◎第8グループI・M開催についてのご案内

日 時：2015年2月7日(土)
 13:00 ~ 受付開始
 13:30 合同例会点鐘～
 (休憩・懇親会含め) 19:00 終了

会 場：ホテル・サンライフガーデン 5F「江陽の間」

テーマ：“人口減少社会”への処方せん
 ～国と地域ができること～

ホスト：平塚北ロータリークラブ

*来年になりましたら出欠を伺います。

◎新会員の推薦者の方へ RI より認証のピンがとどきました。

会員名	推薦新会員
小泉芳郎会員(ブロンズ)	岩津雅晴会員
鈴木栄一会員	北本省三会員
常盤卓嗣会員	秋山 智会員
三荒弘道会員	前田孝平会員

<メイクアップ>

2名
 柏手 茂・白石慎太郎 会員

<本日のスマイル>

12名

<ゲ ス ト>

2名
 村田早耶香様(卓話者)・小林まどか様

<ビ ジ タ ー>

0名

<卓話・行事予定>

- 1月 8日(木) ニューイヤーコンサート
 18:00～20:00
 場所：グランドホテル神奈中
- 15日(木) クラブフォーラム クラブ研修委員会
 升水一義研修リーダー
- 22日(木) 入会記念卓話 尾上達也会員
- 29日(木) プログラム委員会(卓話予定)

<市内例会変更>

現在ございません。

2014年ノーベル平和賞にマララさん

タリバーンによる女子教育禁止に反対し、頭を銃撃されながらも一命をとりとめたパキスタン人のマララ・ユスフザイさん。彼女の勇気ある活動を称え、2014年ノーベル平和賞が授与されました。

マララさんに加え、インドのカイラシュ・サトヤルティさんも平和賞を受賞。ノルウェー・ノーベル委員会による10月の発表によれば、子どもの抑圧に立ち向かったサトヤルティさんの功績が認められました。

委員会はまたこの発表の中で、「子どもや若者も自分たちの置かれた境遇を自ら改善することができる」とマララさんが証明し、「勇気ある行動を通じて、女子が教育を受ける権利を代弁するスポークスパーソンになった」と述べています。

パキスタン、スワート地方の学校に通っていたマララさん。熱心な読書家で、学校でも一目置かれる優等生でした。15歳の時に、この地での生活の様子や、タリバーンによる女子教育禁止への反対を表明するブログを書き始めます。ペンネームを利用していたものの、テレビのインタビューを受け始めるようになったこともあり、マララさんがこのブログの著者であることは広く知られるようになりました。

2012年10月、学校からの帰り道、マララさんが乗ったバスに銃を持った男が押し入り、彼女の頭に向けて発砲。すぐさまペシャワールの病院に搬送されたマララさんは、3時間の大手術に耐え、6日後、戦傷者の治療を専門とする英国バーミンガムの病院に移りました。このニュースはたちまち世界中を駆け抜け、一躍時の人となったマララさんですが、回復後すぐに女子教育向上の活動を再開しました。

そんなマララさんの父親、ジアウディン・ユスフザイさんは、ミンゴラ・スワート・ロータリークラブの会員です。以前からこの地域の改善のために、さまざまなプロジェクトを実施してきました。特に、地元の病院への医療機器の寄贈、浄水プラントの建設、地雷で手足を失った人のための人工義肢を提供する移動クリニックの設立などを実施した非営利グループ「Swat Relief Initiative」の立役者でもあります。ジアウディンさんは現在、ゴードン・ブラウン国連世界教育特使(元英国首相)の顧問役を務めています。

マララさんのストーリーは、「The Rotarian」誌1月号に掲載されました。

ロータリーニュース 7-NOV-2014